

令和6年度能登半島地震災害の教訓  
～沖縄県への提言～

## 令和6年能登半島地震 沖縄DMAT活動報告

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター  
救命救急センター副部長 統括DMAT  
土屋 洋之

1

～はじめに～

この度の令和6年能登半島地震により、被災された皆様に深い哀悼の意を表しますとともに、皆様のふるさとが復興することを、心より願います。

2

## 自己紹介

- 1979年生まれ、医歴19年、京都出身
- 現職： 救急科副部長、臨床研修管理委員長  
日本DMAT隊員、統括DMAT  
沖縄県災害医療コーディネーター  
救急科専門医、集中治療専門医、総合内科専門医  
琉球大学救急医学講座大学院博士課程専攻中
- 2005年 関西医科大学医学部医学科卒業  
宮城県石巻赤十字病院にて初期研修
- 2008年 関西医科大学附属滝井病院高度救命救急センター入局
- 2010年 沖縄県立南部医療センター救急科に所属し現在に至る

3

## 能登半島地震の概要



1月1日午後4時10分頃、石川県能登半島で深さ16キロを震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、石川県志賀町では震度7を観測した。

4

4

### 能登半島地震の概要

能登半島・能登半島沖では2020年12月より地震活動が活発化しており、主な地震として、20年12月～23年12月では下記表に示す地震が発生している。

発生日時	震央	震源の深さ	規模 (M)	最大震度	出典	備考
2021年9月16日18時42分	石川県能登地方	13 km	5.1	5弱	[22]	
2022年6月19日15時08分	石川県能登地方	13 km	5.4	6弱	[23]	#2022年6月の地震を参照。
2022年6月20日10時31分	石川県能登地方	14 km	5.0	5強	[24]	
2023年5月 5日14時42分	能登半島沖	12 km	6.5	6強	[25]	#2023年5月の地震を参照。
2023年5月 5日21時58分	能登半島沖	14 km	5.9	5強	[26]	

気象庁は、24年1月1日の地震を含む、20年12月以降の一連の地震活動を「令和6年 能登半島地震」と命名している。

### 能登半島地震による被災状況

1月9日午後0時時点  
断水状況



### 能登半島地震による被災状況

交通関係 1月8日午前7時時点【地震発生より約7日経過】

国土交通省 発表



### 能登半島地震による被災状況

1月2日午前7時時点  
負傷者数 等

内閣府 発表

1月9日午後2時時点  
負傷者数 等

石川県 危機管理監室 発表

2 人的・住家被害等の状況 (消防庁情報：1月)

(1) 人的・住家被害

都道府県	人的被害					
	死者	行方不明者	負傷者			合計
			重傷	軽傷	小計	
新潟県				2	2	2
富山県			3	15	18	18
石川県	4	4		2	2	6
福井県				5	5	5
岐阜県				1	1	1
兵庫県				2	2	2
合計	4	4	3	27	30	34

令和6年能登半島地震による被害

【第2報 令和6年】

1 被害の状況 (人的・建物被害)

市町名	人的被害(人)				
	死者	行方不明者	重傷	軽傷	小計
金沢市				9	9
七尾市	5			3	8
小松市				1	1
輪島市	8	1	1	4	13
珠洲市	9	1	1	4	15
加賀市					
羽咋市	1				1
かほく市					
白山市					
野々市市					
川北町					
津幡町					
内灘町					
志賀町	2			3	5
宝達志水町					
中能登町					
穴水町	2			1	3
能登町	2			1	3
合計	20	6	1	25	32

3月12日現在、避難者は9760人



## MISSION (任務、使命)

13

## MISSION (任務、使命)

- 絶対に、安全第一で現地に入って、無事にみんなで帰ってくる。

14

## MISSION (任務、使命)

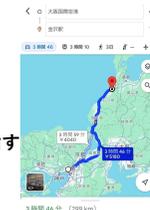
- 絶対に、安全第一で現地に入って、無事にみんなで帰ってくる。
- 徹底的に、被災地(者)の目線に立って、現地のニーズにこたえる。

15

## 穴水に向けて

## 16日 火曜日

- 08:30 那覇空港着
- 11:20 那覇空港発
- 13:10 **伊丹空港着** レンタカー2台に分乗し、金沢を目指す
- 15:00 大津SA(滋賀県)にて道路情報確認
- 17:00 彦根(滋賀県)にてチェーン等の装備購入、日没
- 18:30 鯖江(福井県)に宿泊先変更(金沢の約100km手前)
- 19:00 宿泊地到着後すぐに寝袋、防寒着などの追加装備購入

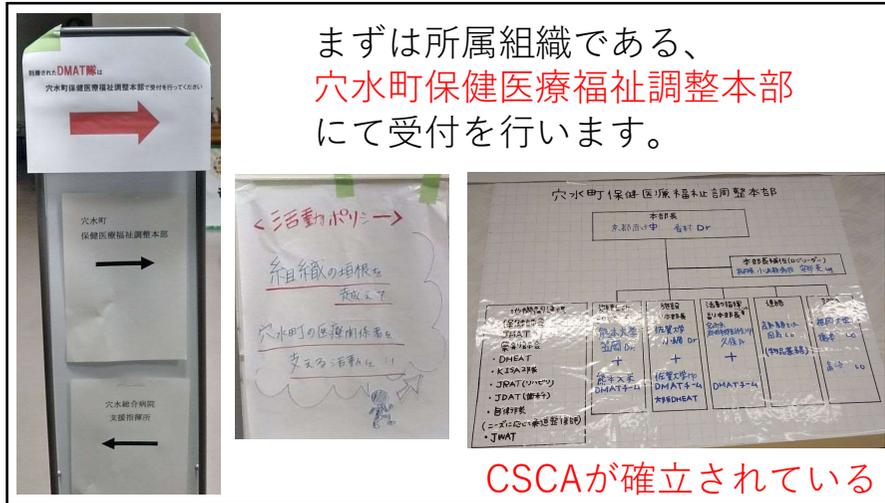


福井県鯖江以北の山間部は積雪情報あり、速度50km/hr制限と夜間走行は事故のリスクが高いという判断に至り、1日目の金沢入りを断念。

17日 14:30 現地着(日没までに到着するMISSION完了)



16



17



18

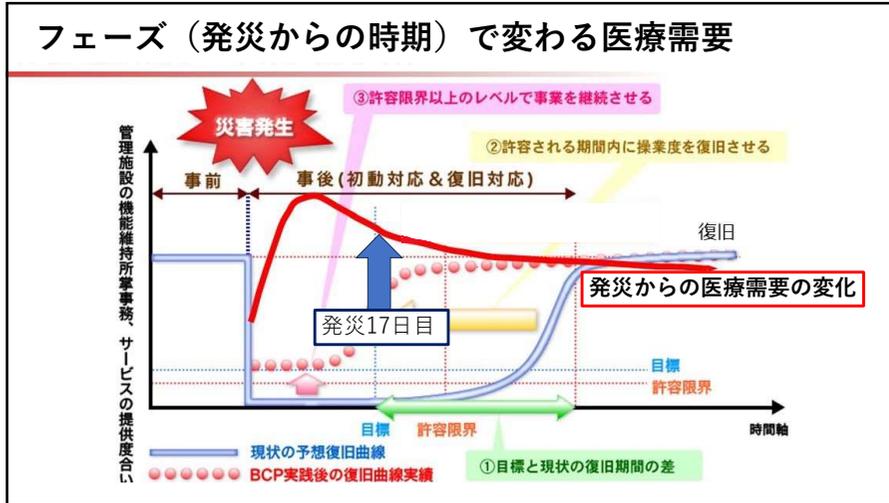
配置決定⇒公立穴水総合病院支援指揮所

**MISSION : 穴水総合病院の診療支援**

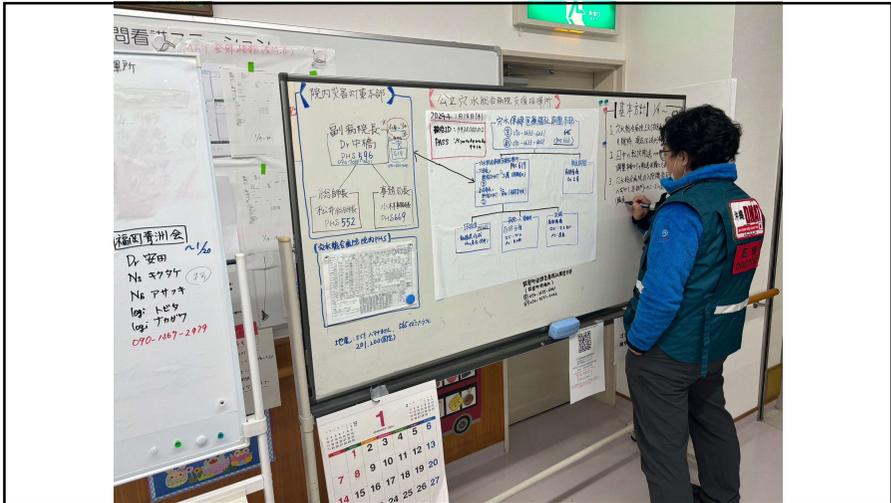
19



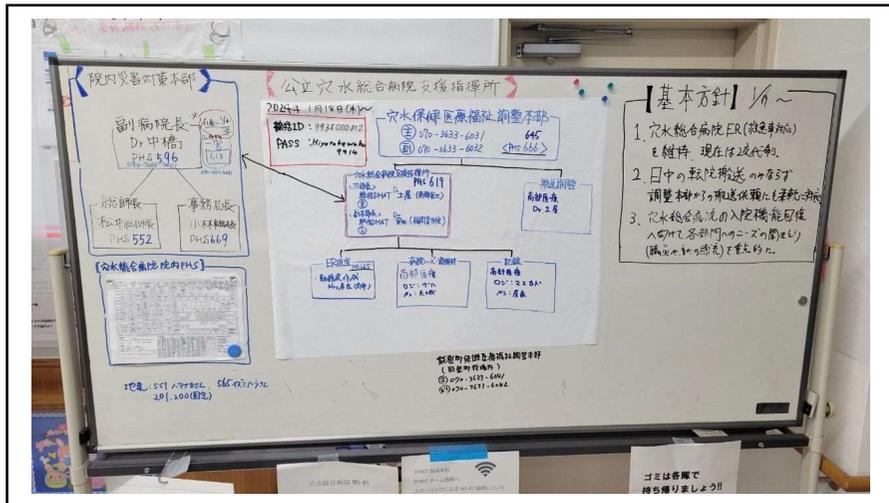
20



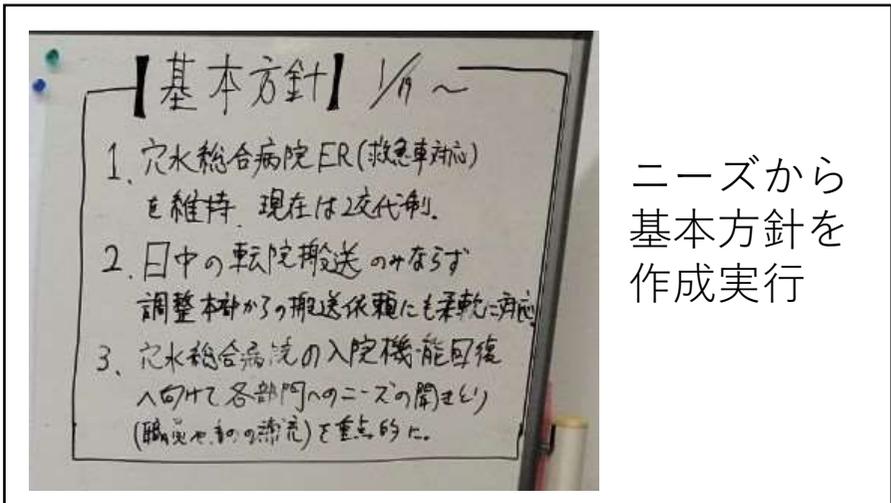
21



22

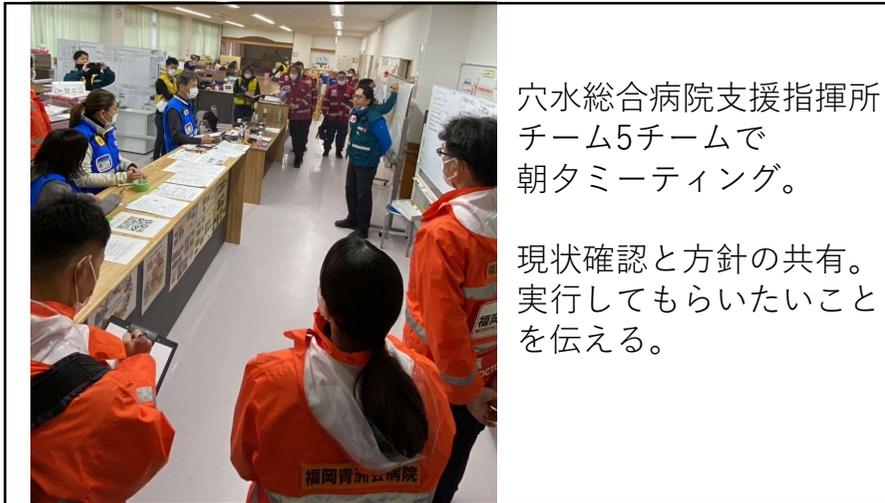


23



24

ニーズから基本方針を作成実行



穴水総合病院支援指揮所  
チーム5チームで  
朝夕ミーティング。

現状確認と方針の共有。  
実行してもらいたいこと  
を伝える。

25



穴水総合病院災害対策本部と病院支援指揮所と  
保健医療福祉調整本部で現状と方針の共有

26

• 検査技師さん  
「検査技師が足りてなくて、業務が回せない。夜勤を2人で回している。  
自宅も被災している、職員家族にコロナが発生して業務が回らない。」

⇒同じような困りごと（声にならないニーズ）を各部門が抱えてい  
るはず。

⇒医局、看護部、検査科、放射線科、栄養科、リハビリ科、事務など  
すべての部門の聞き取り開始！！

27



現状調査

28



そうか、わかった。  
 ここは、お母さんとこどもの場所です。



33

## MISSION (任務、使命)

1. 絶対に、安全第一で現地に入って、無事にみんなで帰ってくる。
2. 徹底的に、被災地（者）の目線に立って、現地のニーズにこたえる。

34

## MISSION (任務、使命)

1. 絶対に、安全第一で現地に入って、無事にみんなで帰ってくる。
2. 徹底的に、被災地（者）の目線に立って、現地のニーズにこたえる。
3. 指揮所を綺麗に現状復帰して、穴水町住民にお返ししよう！！

35

みなでお掃除！！



36



37

### 【ニーズを拾う】

- 相手の目線に立って、困っていることを拾う。
- いつも言ってくれるわけではない。  
声にならないニーズも拾う。
- いわゆる、お節介かもしれませんが。まずは、  
こういうことで困ってない？とアプローチする。

38

被災地支援とは？

日常を取り戻すまでのお手伝い

39

まとめ

- まずはとにかく安全。
- フェーズを見ながら、ニーズを拾う。
- 図々しくなく、お節介に行きましょう。
- 少しでも被災地のお役に立てたのであれば幸いです。

40



ご清聴ありがとうございました。

島嶼防災研究センター



# 緊急報告会

## 令和6年能登半島地震災害の教訓 — 沖縄県への提言

被害調査期間：令和6年2月29日～3月3日

1

島嶼防災研究センター

## 本日のプログラム

### 令和6年能登半島地震被害調査

1) 地震の概要と調査	→ カストロJ.J.
2) 地震・津波の特徴	→ 中村衛
3) 地盤災害	→ 松原仁
4) 建築物の被害、その1	→ 中田幸造
5) 建築物の被害、その2	→ 尾身頌吾
6) インフラの被害及び避難所	→ カストロJ.J.
7) DMATによる災害医療活動	→ 土屋洋之
8) 総括、沖縄への提言	→ カストロJ.J.
9) 質疑応答	

2

島嶼防災研究センター

## 今回の調査からの教訓と課題

- 1) 地震・津波の特徴（中村衛）
  - ・島内の重要インフラ耐震化が急務
  - ・重要インフラの長期間利用不可能を想定した対策
  - ・津波避難路の確保（周辺建物の耐震化）と避難訓練
- 2) 地盤災害（松原仁）
  - ・道路の盛土や斜面の定期的な監視・モニタリングの実施
  - ・地盤災害リスク情報を活用した防災対策の促進
- 3) 鉄筋コンクリート建築物の被害（中田幸造）
  - ・耐震診断、耐震改修を進めることが急務
  - ・ブロック塀の倒壊リスクは沖縄県でも課題。人的被害、避難の妨げ、緊急車両の通行障害を避ける

3

島嶼防災研究センター

## 今回の調査からの教訓と課題

- 4) 木造建築物の被害（尾身頌吾）
  - ・2階建て住宅の1階部分の倒壊が多く見られた
  - ・築年数及び年代による設計耐震規準の違いによる被害度の差（老朽化、壁率、屋根瓦の重さ）
  - ・耐震診断や耐震改修が必要
- 5) 住宅被害・インフラ復旧・避難所・建物基礎被害（カストロ）
  - ・復旧の迅速化には、被害状況の把握が第一歩
  - ・スピード把握には、幹線道路及びその周辺の耐震・津波対策急務
  - ・さらに別輸送路の確保も重要
- 6) DMATによる災害医療活動（土屋洋之）
  - ・大規模災害は現地支援者（エッセンシャルワーカー）も被災者
  - ・主要交通手段（道路、空港、港）が被災すると地域孤立や救援格差が生まれる
  - ・医療を含む支援隊到着までの期間を想定した防災対策

4

 **総括・沖縄県への提言** 島嶼防災研究センター

- 1) 重要インフラの耐震化と津波対策の再点検
- 2) 長期間重要インフラが使用不可能な場合の想定と対策
- 3) 高齢化・過疎化社会における耐震診断および耐震補強をどう進めていけばよいか様々な視点から考える
- 4) 被災者（エッセンシャルワーカーを含む）、県外からの支援者の生活環境の事前検討